

～子育てに関わって親を想う～

育児休暇を取得して育児に関わった男性お二人に、子育てについての思いやエピソードを語っていただきました。

子育て談義が弾むなか、「父親用育児グッズ」の提案や、育児休暇についてのご意見・ご感想をお伺いすることができました。



長谷川 順一さん



篠原 俊幸さん

プロフィール

長谷川 順一さん

パルコ大分店勤務。昨年8月に長女が誕生したのを契機に40日間の育児休暇を取得。家事全般と長女の沐浴を引き受け産後の妻を支えた。

篠原 俊幸さん

大分市役所勤務。昨年2月に長男が誕生。一ヶ月間育児休暇を取得。育児全般を引き受けた。

■育児休暇をとった動機は？
またまわりの反応は
どうでしたか？

長谷川 先輩の前例があったことで自分も育児休暇をとることを宣言してしました。会社や職場の理解があり、恵まれていたと思います。
子育ては、今しか出会わない経験であること、日々変わる子どもの顔を見つめたかったからです。

篠原 出産に立ち会ったことで子どもとちゃんと接したいと思う様になりました。
職場の状況を考慮して、また育児の要領（ミルクの与え方、オムツの替え方）を得た頃の8月（生後六ヶ月）に休暇をとりました。

■育児中に大変だったこと、
また、良かったこと、
エピソードは？

長谷川 育児は、四六時中見守っていないと大変だったので気が抜けず大変でした。中でも泣かれた時が一番困りました。理由が何であるか分からないので、手当り次第試してみても駄目な時は、抱いたり散歩に行ったりと。結局おっぱいで泣き止む。おっぱいにはかきません（笑）

篠原 子どもをかるって（背負う）散歩するのに日傘がほしかったのですが男性用の日傘はなく、仕方なく雨傘で行きました。面白い格好だったと思います。この時は、男性用（父親用）の日傘がほしいと思いました。
ショッピングセンターでオムツを替えていた時、女性の方から「応援していますよ」と声を掛けられ嬉しかったです。
「仕事に行くより楽でしょう」と言う人もいます。でも、仕事は自分で段取りがつかますが、育児は常に気が抜けないので、とても大変です。

■子育てで感じたことは？
また自分が変わったと
思うことはありますか？

長谷川 子育てに関わった事で自分達の両親に対して大変だっただろうと感謝する気持ちになり、妻に対する気持ちも変わりました。一子を得た事で、他の子ども達にも優しく接する事が出来る様になりました。

篠原 育児は大変だけど楽しいものです。子どもとの絆というより、夫婦の絆が強まり、家族としての一体感が生まれた様な気がしています。

（終わりに）
育児休暇は休暇ではないと言うお二人、「育児休暇をとったもの同士親近感がわきます」と意気投合。
子どもについて語る時は美感がこもり、その気持ちが十分に伝わってきました。

